

学習のめやすプロジェクト:学習シナリオ

記入者:韓国語 A

言語: 韓国語	話題分野: 日常生活
必要とする時間数(参考): 8～10h	対象クラス(レベル): 1年目の学習の終わりごろ(レベル1) *クラスサイズ:約20人、**グループサイズ:5人～6人
必要とする教材・リソース: PC, デジカメ	
コミュニケーション能力指標: 1-1 一日の生活の基本的な挨拶ができる。 1-2 一日の生活行動(何時に何をするか)について会話できる。 1-3 一週間の生活行動(何曜日に何をするかなど)について会話できる。 1-4 普段持ち歩いているものや身につけているものについて会話できる。 1-5 予定(いつ何をするか)をメモにして伝えることができる。	
学習シナリオ: 『スケジュールの達人』 韓国からの高校生がホームステイを引き受けることになった A 高校の韓国語の生徒たちは、1週間の彼らの滞在中に、お互いのスケジュールを調整し合っ、グループに分かれて一緒に食事に行ったり遊びに行くことになった。 生徒たちは、予め自己紹介文と日本滞在中と一緒に遊びに行きたいという趣旨のメールを送り、自由時間があるかどうかを尋ねる。相手のメール(自己紹介、日程など)を読み、自分たちのスケジュールを調整して、おおまかな計画を立てておく。各グループは、ホストファミリーの一日の生活行動(何時に朝食など)を滞在中の予定(外出など)について尋ねに行き、その内容を韓国語でまとめる。相手が来たら、お互いに自己紹介しあい、ホストファミリーの予定をまとめたものを示しながら説明する。好きなことや行きたいところ、食べたいものなどについて話し合い、日程を調整して、具体的に食事と遊びに行く日時と行き先を決める。そして待ち合わせの場所、時間、持ち物、予算について相談しておく。自分たちの活動を、ブログにこまめにアップして、韓国や日本の保護者、学校の友達、先生も見られるようにしておく。当日、わからないことばや習慣があつたら、あとで調べられるようにメモしておき、HP 用に記念写真なども撮っておく。韓国のが高校生が帰った後は、まとめとして、この間の行程表を作成し、写真や自分たちの感想を入れた韓国語と日本語の学校 HP を作成し、後輩たちや地域の人、韓国のが高校の人たちにも伝える。	
学習活動のステップ: 1. グループに分かれて、韓国のが高校生に自己紹介文と質問をメールで書く。 2. 相手からのメールを読む。 3. ホストファミリーの予定をたずねに行って、まとめて書く。 4. 韓国のが高校生と会って、自己紹介をし、ホストファミリーの予定などを伝える。 5. 日時、行き先を相談して決める。 6. 当日、韓国のが高校生を食事に連れて行ったり、行きたいところに案内する。 7. ブログで自分たちの活動を紹介する。 8. この間の行程表や写真、活動を紹介するHPを作成する。	
代替活動: 韓国からの高校生がホームステイが受けられない場合は、クラス内で日本人・韓国人の役割分担をして、ロール・プレイを行い、模擬校外活動をする。	
拡張活動: 活動中の疑問点をさらに詳しく調べて、各家庭や友達と話し合い、クラス内で発表する。	
評価 ●総括的評価: ブログで活動の様子を、リアルタイムに韓国及び日本の関係者に紹介する。 学校の HP で、ホスト生徒滞在中の行程表を作成し、来年度の活動にもつなげる。 ●形成的評価: メールで、自己紹介や依頼、質問の内容を書き、相手からの内容を理解する。 スケジュール表を作成する。 自己紹介やお出かけの計画を立てる。	

言語運用のモード(4 技能)

- 対人モード：
 - メールで質疑応答する(読む・書く)
 - 日常の基本的な挨拶をする(聞く・話す)
 - お互いの予定について調整する(聞く・話す)
 - 韓国の高校生と交流する(聞く・話す)
- 解釈モード：
 - 相手からのメールを読み、解釈する(読む)
 - 他グループのブログ・HPを見て、理解する(読む)
- 提示モード：
 - ホストファミリー及び自分たちの予定表を作成する(書く)
 - 活動を紹介するブログ・HPを作成する(書く)

表現: -고 싶어요, 좋아해요/안 좋아해요, -아요/어요/해요, 왔어요/었어요/했어요, 아/어/해 주세요

語彙: 숫자, 시간, 날자, 요일, 아침/점심/저녁, 장소(노래방, 공원, 마트, 미술관, 역),
언제/어디/무엇/누구, 음식 이름, 소지품(카메라, 핸드폰, 지갑, 거울, 화장품)
다시 한번/천천히, 알아요/몰라요, 인사말

文化理解(文化事象への関心・観察・気づき／比較／移動の要因考察／調整・相互作用):

- 文化事象への関心・観察・気づき
 - 生活習慣・挨拶の仕方・食事のマナー・非言語コミュニケーションに気づき、相手のことを知り、理解を深める。
- 文化事象の比較と調整
 - 日常生活の過ごし方・生活習慣の相違点・共通点を発見して共感したり、わからない点を調べたり、家庭や学校で話し合ったりする。

文化事象(取り上げる文化事象)

日常生活習慣、非言語コミュニケーション(スキンシップ、表情、ジェスチャーなど)、会計の仕方

学習スキル(カリキュラムの要素):

- 高度な思考能力：自分の持っている文化知識を新しい場面に応用する。
- 情報処理能力：ブログやHPにアップする内容を取捨選択する。
- 問題解決能力：スケジュールの調整
- 方略的能力：限られた能力で必要な情報を相手に伝えたり聞いたりする。
- テクノロジー(IT操作)：メールの送受信、ハンゲル入力、ブログ・HPの作成
- リテラシー：メールを書く・読む
- 協働作業：グループで韓国の高校生と交流する。ブログ・HPを作る
- 自律学習：自分たちのスケジュールを調整し、活動の計画を立てる
- 創造力：ブログ・HPを作る。

他教科との連携: 情報科、社会科

教室外との連携: 家庭、地域、韓国の高校生

注: